

(別紙4(2))

事業所名 愛の家 グループホーム 筥松

作成日: 令和元年 12月2日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	年2回、消防署の協力を得て、避難訓練を実施しているが、夜勤者が自信を持って避難誘導を行えるよう、頻繁に訓練を実施していく。	職員1名が利用者役になり、夜勤の職員と2名で行う訓練を繰り返し実施して、いざという時にも慌てずに行動できるよう、災害時に備えて準備していく。	12ヶ月
2		小、中学生に向けての、認知症やグループホームの啓発活動への取組	子ども見守り隊の活動から、小学生が気軽に立ち寄れる関係が築けているが、更にこの関係を発展させて、認知症の理解やグループホームについて正しく理解してもらえるよう取り組んでいく。	小学生の体験学習、中学生の職場体験を積極的に受け入れ、認知症やグループホームについての啓発と、次世代の人材育成に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。